

高樋地区の防災力向上に向けて

高樋地区自主防災会

今年度の取り組み

① 防災セミナーの受講

実施日：2023年5月28日（日） 場所：高樋集会所

実施内容：県防災アドバイザーによる防災セミナーを受講

② 避難所見学会に参加

実施日：2023年7月23日（日） 場所：クリスタルアーヂョ

実施内容：避難所の設備等の見学及び非常食の試食

当地区と隣接する四丁目地区との意見交換

① 防災セミナーの受講



【目的】

地区住民の防災意識を高める。

【現状】

地区内で近年大きな被害が生じていないため、防災意識が低い。

【現状からの懸念】

いきなり避難訓練を呼びかけても、住民が集まらないと考えられる。

【対策】

まずは、防災に関する話を聞いてみるところから始めよう！！

STEP 1

誰に話をしてもらおうか・・・

市に相談したら、専門家である
県の防災アドバイザーの派遣を
無料で受けられることが分かった。

STEP 2

地区住民への周知をどうしよう・・・

市が各戸配付用のお知らせチラシ
を作成してくれた。

防災セミナー実施のお知らせ

近年、大雨をはじめとする気象災害は激甚化の傾向にあり、全国で多くの被災者が発生しています。本市においても、一昨年の8月に多治比川が決壊したことで浸水被害を受け、災害が身近なものであることを改めて実感された方が多くいらっしゃると思います。また、過去には災害で尊い人命も失われています。

今回の防災セミナーでは、**高樋地区の災害リスク**についてのお話や、**気象情報をどのような方法で入手することができるか**、また、**個人でできる災害への備え**について等、専門家である防災アドバイザーが分かりやすく説明させていただきますので、是非この機会にご聴講ください。

日時:2023年5月28日(日)

午前10時～(約2時間程度)

場所:高樋集会所(住吉神社横)



ハザードマップを使って高樋地区にどのようなリスクがあるか具体的に説明するよ。

【お話をさせていただく内容】

- 1 高樋地区の災害リスク
- 2 避難情報の発令について
- 3 各種避難行動について
- 4 避難先の説明について
- 5 避難の準備について
- 6 避難情報の入手方法について
- 7 まとめ

参加される方は会場へ直接お越しください。(申込受付はありません)

地域にお住まいの方であれば、どなたでもご参加いただけますので、是非この機会に災害について一緒に考えましょう!!

お問い合わせ:安芸高田市危機管理監危機管理課 防災・生活安全係
電話・お太助フォン:42-5625



STEP 3

地域の実情に合わせたセミナーの内容にしてほしい・・・

事前にweb会議でセミナーの内容について関係者と話し合えた。

STEP 4

セミナーの実施後、セミナーの内容を欠席者にも伝えたい・・・

市が、セミナーの内容をまとめた回覧用チラシを作成してくれた。

高樋地区防災セミナーを実施

と き：2023年5月28日（日）10時～12時
と ころ：高樋集会所



当日は、雨が心配される天候でしたが、高樋地区から12人が参加されました。講師にお招きした防災アドバイザーの西田井紀宏（にしだいのりひろ）さんから、「高樋地区にどのような災害リスクがあるのか」「災害に対してどのように備えておくべきか」といった内容を分かりやすくお話いただきました。

西田井さんのお話の中から、高樋地区の皆さんに知っていただきたいことをいくつかピックアップして掲載します！

【重要なポイント】

- ① いざというときに適切な行動がとれるよう普段から「**どのタイミングで**」「**どこに避難するか**」を考え、「**避難に必要なもの**」についても備えておくこと。
- ② 高樋地区は『**洪水**』の災害リスクが高い。
- ③ 「**避難**」とは、**危険な場所から安全な場所へ動く**ことであり、避難所だけでなく親戚や知人宅、宿泊施設も避難先となる。
- ④ 避難行動の基本は「**立退き避難**」であるが、つぎの場合には「**屋内安全確保**」ができる。
 - ◆ 浸水しない居室があること
 - ◆ 水や食料、薬やトイレなど、生活を維持できる備えがあること
 - ◆ 家屋倒壊等氾濫危険区域に入っていないこと
- ⑤ 普段からハザードマップを見て、避難経路を確認しておくとうい。
- ⑥ 非常持出品は、自身が必要だと思うものを日常的に準備しておくとうい。
- ⑦ 各種情報はテレビやラジオのほか、スマートフォンやパソコンなどを活用して入手できる。

災害に対しては「**ありえないなんてことはありません**」という気持ちで備えましょう。
高樋地区自主防災会

② 避難所見学会に参加



【目的】

住民の避難意識を高める。

【現状】

セミナー参加者12名のうち、これまでクリスタルアージュヨへ避難したことがある人は半数程度しかいなかった。

【現状からの懸念】

避難が必要なときに、適切な避難行動が取れない可能性がある。

【対策】

まずは、避難所を見学して、避難所がどのような場所か「知る」ところから始めよう！！

○避難所見学会のメニュー

- ・避難所までの避難経路における危険箇所の確認
(県防災アドバイザーと一緒に歩き、危険箇所の確認ができた。)
- ・避難所及び避難所設備の見学
- ・地域防災タイムラインの作成
- ・非常備蓄食料の試食
- ・県防災アドバイザーを交えた意見交換
- ・災害用資機材カタログの配布

- **避難所までの避難経路における危険箇所の確認**

県防災アドバイザーの西田井 紀宏さんと一緒にクリスタルアーゴまで歩きながら、避難ルートに潜む危険箇所を確認した。



- **避難所及び避難所設備の見学**

避難所となる部屋や実際の設備を見学した。



- **地域防災タイムラインの作成**

作成方法の説明を受け、それぞれがどこにどのタイミングで避難するか等、実際に記入してみた。



- **非常備蓄食料の試食**

お湯がなくても食べられる非常備蓄食料を試食してみた。



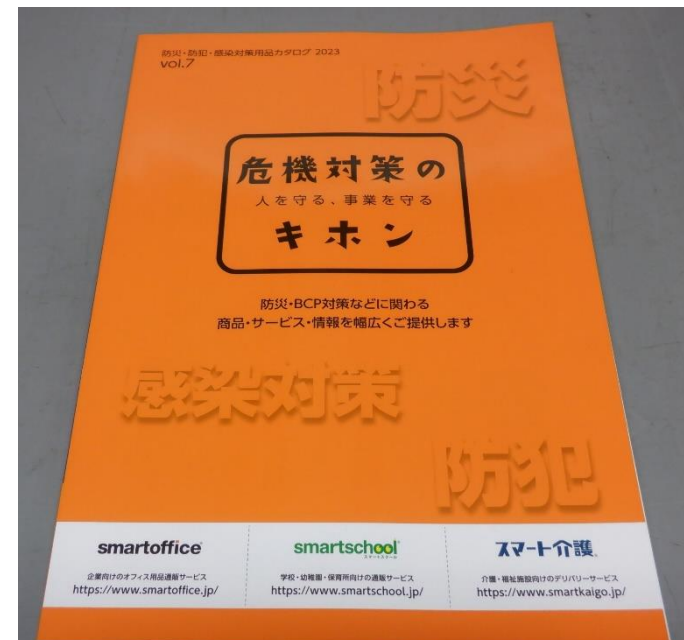
- ・ 県防災アドバイザーを交えた意見交換

四丁目地区の取り組みや、今後の防災対策の参考となる話を聞くことできた。



- ・ 災害用資機材カタログの配布

個人での備えの参考となる防災関係の商品が掲載されたカタログの配布があった。



まとめ

高樋地区では、いきなり「避難訓練」を実施することはハードルが高い現状があった。（人が集まらない心配があった。）

なので・・・

- ① 住民の負担感が少ないセミナーで人を集め
- ② 避難所見学会で、避難することの大切さを学習した。

【ポイント】

地域の実情に応じたやり方で、少しずつ地域住民の防災意識を高めていく。**まずは無理なく「やってみる」ことが大事。**